

高校 1 年 美術の授業シラバス

(総合進学コース・アドバンストコース・スポーツカルチャーコース・国際コース)

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
美術	美術 I	1 年	必修	56	高校生の美術 1 (日本文教出版)	油絵具セット 1 2 色、iPad (ロイロノート)、 その他学習内容に適した教材

1 学習目標

年間学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
--------	---

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	鉛筆による素描 静物画 (油彩)	自画像または名画の模写 (油彩)	木彫額 (工芸制作)
備考	必要に応じてレポート課題を課す。		

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

高校1年 美術の授業シラバス

(Sコース)

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
美術	美術 I	1年	必修	28	高校生の美術1 (日本文教出版)	油絵具セット10色、iPad (ロイロノート)、 その他学習内容に適した教材

1 学習目標

年間学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
--------	---

2 授業進度

	1学期	2学期	3学期
学習内容	静物画 (油彩)	自画像または名画の模写 (油彩)	木彫額 (工芸制作)
備考	必要に応じてレポート課題を課す。		

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	- 観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 - 各学期評価に基づいて年度末5段階評定 - 観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

高校2年 美術の授業シラバス（総合進学コース・特進Bコース）

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
美術	美術Ⅱ	2年	必修	28	高校生の美術2 （日本文教出版）	油絵具セット12色、iPad（ロイロノート）、 その他学習内容に適した教材

1 学習目標

年間学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
--------	--

2 授業進度

	1学期	2学期	3学期
学習内容	鉛筆による素描 テーマによるイメージ表現（油彩）	ボックスアート（立体制作）	
備考	必要に応じてレポート課題を課す。		

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

高校 2 年 美術の授業シラバス (S コース)

教科	科目 名等	学年	履修 形態	実授 業数	教科書	副教材など
美術	美術 I	2 年	必修	28	高校生の美術 2 (日本文教出版)	油絵具セット 10 色、iPad (ロイロノート)、 その他学習内容に適した教材

1 学習目標

年間 学習 目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
----------------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習 内容	鉛筆による素描 テーマによるイメージ表現（油彩）		ボックスアート（立体制作）
備考	必要に応じてレポート課題を課す。		

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価 対象 ・ 方法	知識・ 技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価 基準	知識・技 能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合 評価 ・ 評 定 の 算 出	- 観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 - 各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 - 観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・ 判断・ 表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判 断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的 学習態 度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的 学習態 度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

高校 3 年 美術の授業シラバス （総合進学コース・特進 B コース）

教科	科目 名等	学年	履修 形態	実授 業数	教科書	副教材など
美術	美術 Ⅲ	3 年	選択	40	高校生の美術 3 (日本文教出版)	油絵具セット 1 2 色、iPad (ロイロノート)、 その他学習内容に適した教材

1 学習目標

年間 学習 目標	美術の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
----------------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期
学習 内容	ボールペンによる素描 F 20 号油彩画制作	
備考	必要に応じてレポート課題を課す。	

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価 対象 ・ 方法	知識・ 技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価 基準	知識・技 能	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階	総合 評価 ・ 評 定 の 算 出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・ 判断・ 表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判 断・表現	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		
	主体的 学習態 度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的 学習態 度	学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

高校 3 年 美術の授業シラバス （総合進学コース）

教科	科目 名等	学年	履修 形態	実授 業数	教科書	副教材など
美術	美術 演習	3 年	選択	40		学習内容に適した教材

1 学習目標

年間学習目標	美術系大学への進学を目的とした基礎的な表現力を培うとともに、感性と美意識を磨き、表現者としての姿勢を育てる。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期
学習内容	鉛筆デッサン 木炭デッサン 人物クロッキー	描写 色彩構成 立体構成
備考	必要に応じてレポート課題を課す。	

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	基礎的な技法や技術の習得、および筆記試験における基礎事項の理解。	評価基準	知識・技能	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	- 観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 - 各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 - 観点別配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度＝3：5：2
	思考・判断・表現	課題への理解力や構想力、観察力や表現力、および筆記試験における思考力や表現力を見る出題等への取り組み。		思考・判断・表現	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	課題の取り組みへの計画性や長期休暇課題への取り組み状況など。		主体的学習態度	学期 A B C 3段階 学年 A B C 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。